

外国語科・外国語活動 授業改善推進プラン

1 学力効果測定結果（第6学年のみ）

- ・「思考・判断・表現」においては、目標値は下回ったものの、区平均と同程度である。「知識・技能」「主体的に取り組む態度」では、目標値と区平均を下回っている。
- ・音声を聞いて、活字体で書かれた文字を正しく書く問題における正答率が低い。アルファベットは正しくかけているが、4線上の書く位置を正確に理解していない可能性があるため、文字の高さの違いを意識させたり、まぎらわしい形を意識させたりする必要がある。
- ・音声を聞いて、日常会話を理解する問題における正答率が低い。音声だけでなく、イラストや写真を用いて視覚的な情報も参考にしながら話の概要を捉えることからできるようにする。
- ・例文を参考にしながら、身近な事柄について簡単な語句や基本的な表現を用いて書く問題における正答率が低い。例示された中に児童の表現したい言葉がない場合、指導者が個別に書きたい語句を提示するなどして、児童の積極的に書くようとする気持ちに柔軟に対応していく。
- ・「読む」における正答率が低い。文字と音との関係を理解し、単語を音声化していくことが有効である。そのためにはイラストやカードを使い、積極的に声を出して練習することで語彙を増やす必要がある。

2 児童の実態及び学習効果測定の結果分析（課題） ※第6学以外は実態で記述

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に初めて触れる児童が多く、抵抗を感じている児童がいる。 ・活動には楽しんで参加しているが、内容を理解せずに参加していることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで活動に参加している児童が多いが、内容理解や定着は難しい児童がいる。 ・不慣れな言葉や雰囲気、消極的な態度の児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで活動に参加している児童が多い。しかし、外国語になじめず消極的になったり、慣れない言葉を発声することを恥ずかしがったりしている児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで活動に参加している児童が多い。しかし、音を正確に理解し、発音することが難しい。 ・以前に学習した内容を忘れてしまう児童が多く、繰り返し教えていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に意欲的に取り組んでいる。 ・外国語指導講師のネイティブな発音を聞き取るのが難しい。 ・日常に英語がありふれているので、単語の発音は得意だが、文法になると苦手意識をもつ児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に無回答率が低く、他教科より主体性が高い。 ・誤答が一番多いのは、「できること」に関するリスニングの項目である。 ・日頃から主体的に発音する様子がある。しかし、長いセンテンスや会話でのやりとりになると、発音を理解しきれないことがある。

3 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に、色や数等の単語を聞いて、外国語指導講師の発音を真似して、繰り返し発声する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、自分の気分など、日常的に使える言葉を、学習の最初に発声することで、基本的な表現を覚えて、扱えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の基本的な表現に慣れ親しむことができるように、外国語指導講師の発声に続いて発声する活動を繰り返し設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導講師の発音に近づけて発音するよう指導することで、英語の音声やリズムなどに慣れ親しむ機会を増やす。 ・外国の生活や習慣・行事などを教材として扱うことで、異なる文化について気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導講師やデジタル教科書を活用し、聞き取る機会を増やす。 ・身近な単語などの書き取りを通して、アルファベットの習得を進める。小文字26文字を書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大文字・小文字各26字を書けるようにする。 ・リズムに合わせて発音することで、標準的な発音やイントネーションを身に付けさせる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・色や数等の単語について、外国語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝えるアクティビティを設定し、活動することで、伝え合う力の基を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天気や食べ物などの子どもにとって身近な英語に慣れさせるために、掲示物を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な表現でのやり取りを含むアクティビティの設定し、活動することで、伝え合う力の素地を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア活動を増やすことで自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、伝え合えるようにする。 ・発表の場を設けて身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたいことを伝えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な単語や表現を使って、自分のことや友達のことを、相手に伝える活動を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や身近なことについて、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動をすることで、伝え合うことができる基礎的な力を養う。
主体的に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に親しめるように、日常生活の中で外国語に触れる機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に親しめるように、日常生活の中で外国語に触れる機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで楽しめるようなアクティビティを設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズやゲームを取り入れ、外国語に親しむ機会を増やす。 ・音楽やリズム遊びを取り入れて、興味・関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない表現や単語、そして聞き取りにくい発音などがあつた時に、進んで外国語指導講師や担任に質問できるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで対話する場面を設定する。

※太枠内は、特に重視する内容